

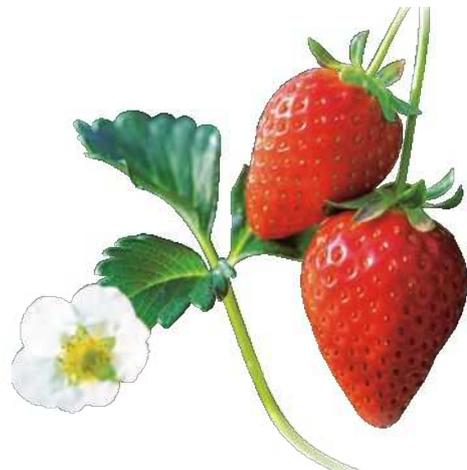
福島県いちごオリジナル品種

「ゆうやけベリー」  
栽培の手引き(改訂版)



令和6年9月  
福島県農林水産部





contents

福島県いちごオリジナル品種

# 「ゆうやけベリー」 栽培の手引き (改訂版)

## 1 育成経過 ..... 1

## 2 品種特性 ..... 2

- ① 形態的特性
- ② 開花・収量性
- ③ 果実特性
- ④ 病害抵抗性
- ⑤ 作型・栽培方式

## 3 栽培管理 ..... 10

- ① 親株管理
- ② 育苗管理
- ③ 定植前後の本ぼでの管理
- ④ 病虫害対策
- ⑤ 収穫適期
- ⑥ 収穫から出荷までの保管
- ⑦ 着色基準について

本マニュアルは、栽培試験の成果や生産者からの御意見を踏まえて改訂することがあります。



# 1 育成経過

「ゆうやけベリー」は、2012年に福島県農業総合センターにおいて「かおり野」を子房親、「とちおとめ」を花粉親として交配し、2013年にそれを含む5,433個体を定植し、以後選抜を重ねました。

2016年に系統名「福島14号」を付与し、2017年から現地試験を県内延べ20か所で実施しました。

2022年2月に「福島ST14号」の名称で品種登録出願しました。

「ゆうやけベリー」という名称は、橙色を感じさせる鮮やかな赤色を表現したもので、全国から公募した中から選ばれ、2023年5月15日付で商標登録されています。

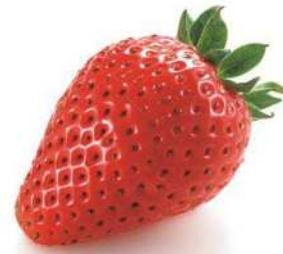


写真1 「ゆうやけベリー」の果実

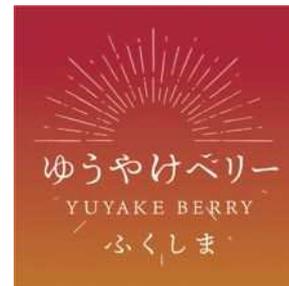


図1 ロゴデザイン



図2 「ゆうやけベリー」の育成経過



写真2 「ゆうやけベリー」の草姿



写真3 「ゆうやけベリー」の果実

## 2 品種特性

### ① 形態的特性

#### ア 草勢

草姿は立性、草勢は強いため、無電照栽培においても厳寒期の草勢が維持されます(図3、表1)。現地試験においても会津地方、中通り地方、浜通り地方全ての試験場所で厳寒期の草勢維持が評価されました。

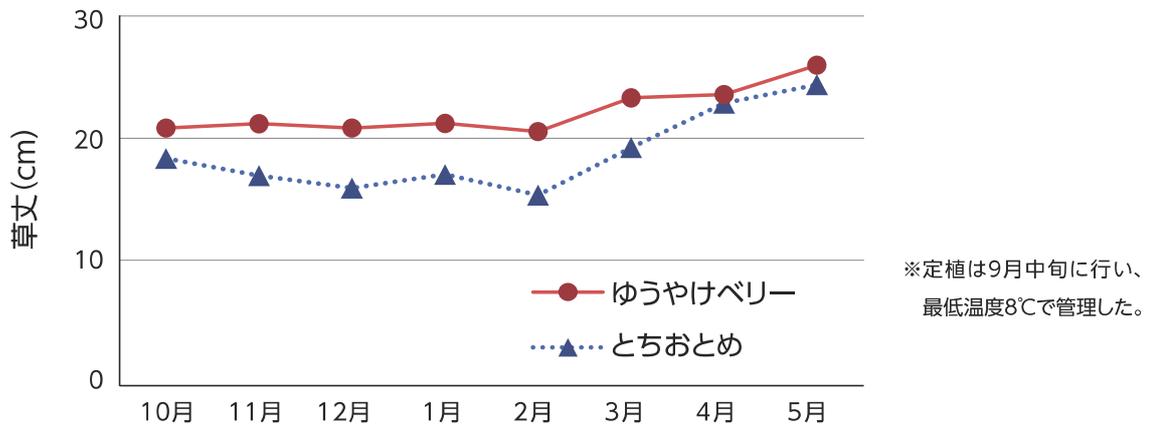


図3 無電照栽培下での草丈の推移  
(農業総合センター、2021年10月～2022年5月)

表1 無電照栽培下での収穫開始時の生育及び各花房の花数

品種・系統名	収穫開始時の生育 (2020年12月22日調査)						各花房の花数			
	草姿	草勢	草丈 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	頂花房長 (cm)	頂花房 (個)	第一次腋花房 (個)	第二次腋花房 (個)	第三次腋花房 (個)
ゆうやけベリー	立性	強	23.1	9.1	7.2	25.9	14.1	11.4	7.1	10.0
とちおとめ	中間	中	14.1	5.6	6.0	21.9	15.7	11.5	8.0	9.6

※定植は9月中旬に行い、最低温度8°Cで管理した。(農業総合センター、2020年12月～2021年4月)

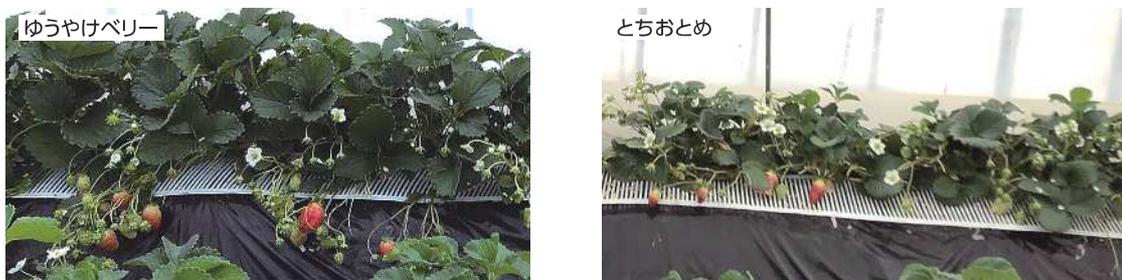


写真4 現地試験栽培での草姿(左:ゆうやけベリー、右:とちおとめ)  
(会津若松市、2022年2月撮影)

#### イ 花房

頂花房の花数は14.1個で、「とちおとめ」と比較して同程度～やや少ないです。花房長は「とちおとめ」と比較してやや長いですが、太く折れにくいです(表1)。



写真5 現地試験栽培での草姿(左:ゆうやけベリー、右:とちおとめ)  
(棚倉町、2022年4月撮影)

## ウ 根

「とちおとめ」よりも細根が多く、根量が多い傾向があります(写真6)。



写真6 「ゆうやけベリー」の栽培終了後の根  
(郡山市、2023年6月撮影)

## ② 開花・収量性

### ア 花芽分化・開花

3寸ポットで育苗した場合、花芽分化は9月中旬に確認され、開花日は11月上旬で、「とちおとめ」と同程度～やや早いです(表2)。

### イ 収穫開始

9月中旬定植の場合、収穫開始日は12月中旬で、「とちおとめ」と比較して10日程度早いです(表2)。

表2 花房の開花日及び収穫開始日

品種・系統名	開花始期 (月/日)	収穫始期 (月/日)
ゆうやけベリー	11/10	12/18
とちおとめ	11/13	12/30

(農業総合センター、2018年11月～2021年5月の3作の平均値)

## ウ 収量

開花から収穫までの日数は「とちおとめ」より早く、収穫開始も早いことから、「とちおとめ」より年内収量が多いです(図4)。

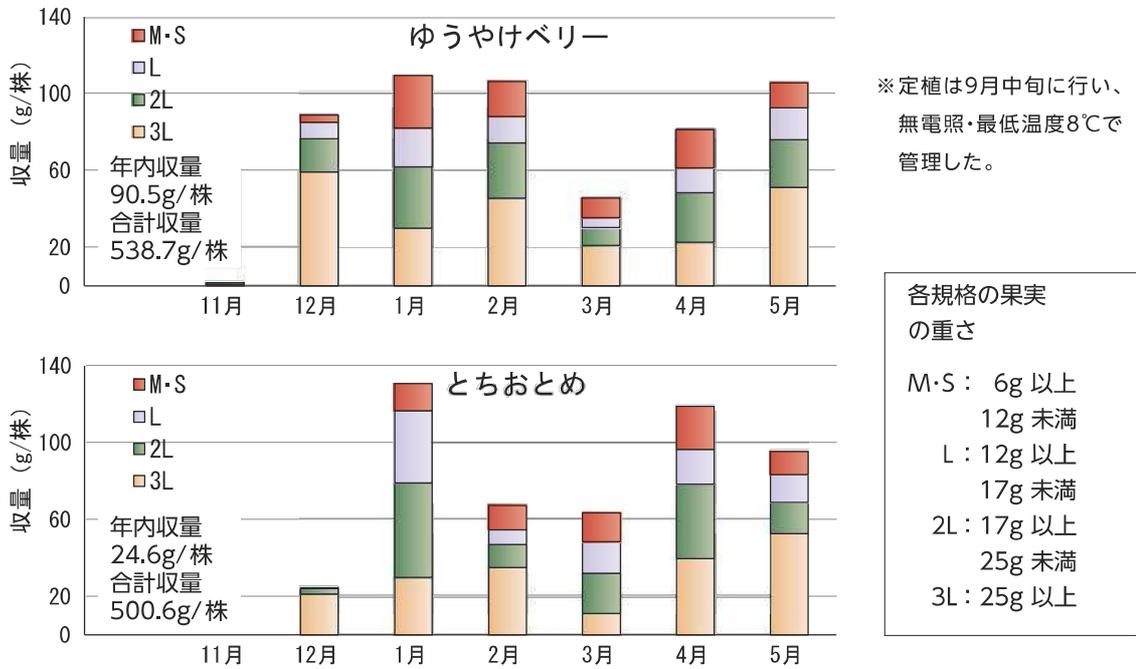


図4 1株当たりの月別規格別商品果収量  
(農業総合センター、2020年11月～2021年5月)

## ③ 果実特性

### ア 果実特性

果実の形は長円錐で果皮色は鮮橙赤、果肉は白色です(写真7)。

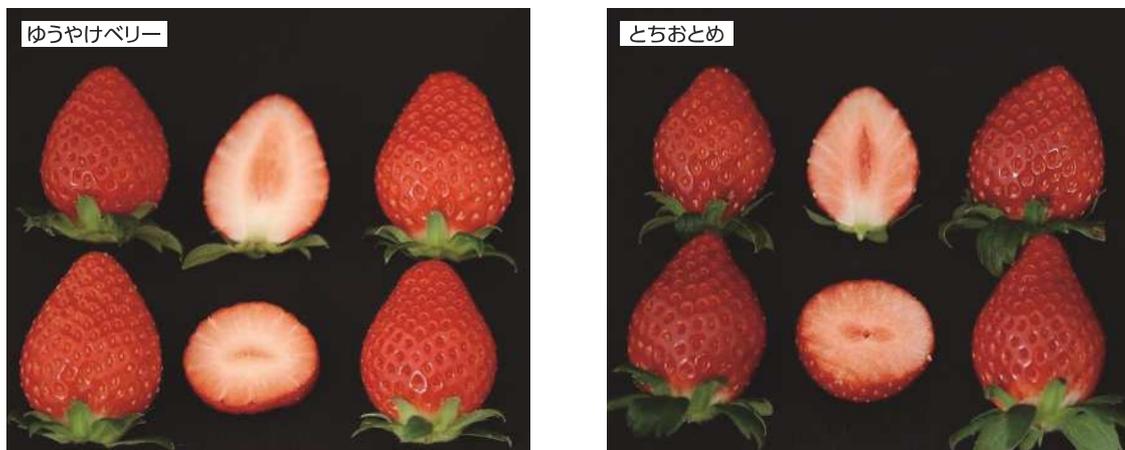


写真7 「ゆうやけベリー」、「とちおとめ」の果実  
(2020年12月28日撮影)

## イ 果実品質

大果の割合が「とちおとめ」と比べて高く、奇形果が少ないのが特徴です（図5）。商品果率は「とちおとめ」と同等に高い傾向にあります。

現地試験においても3L以上の果実が多く、大果傾向、多収でした。すそ果が小玉になりやすい傾向があります。

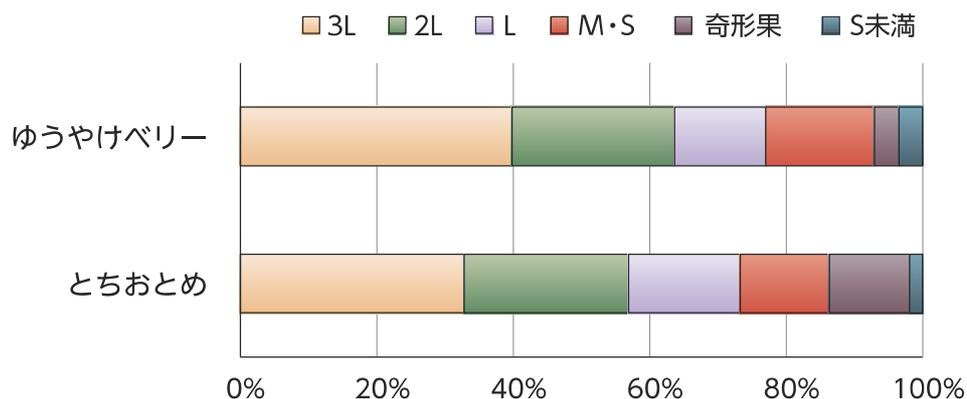


図5 1株当たりの規格別収量の割合  
(農業総合センター、2020年11月～2021年5月)



写真8 箱詰め時

## ウ 果実糖度・食味

果実糖度は収穫期間のどの着色程度・収穫時期においても「とちおとめ」より高い傾向があり、甘さを強く感じる品種です（図6）。

現地試験では、味のばらつきが少なく良食味で、香りが強いという評価が得られています。

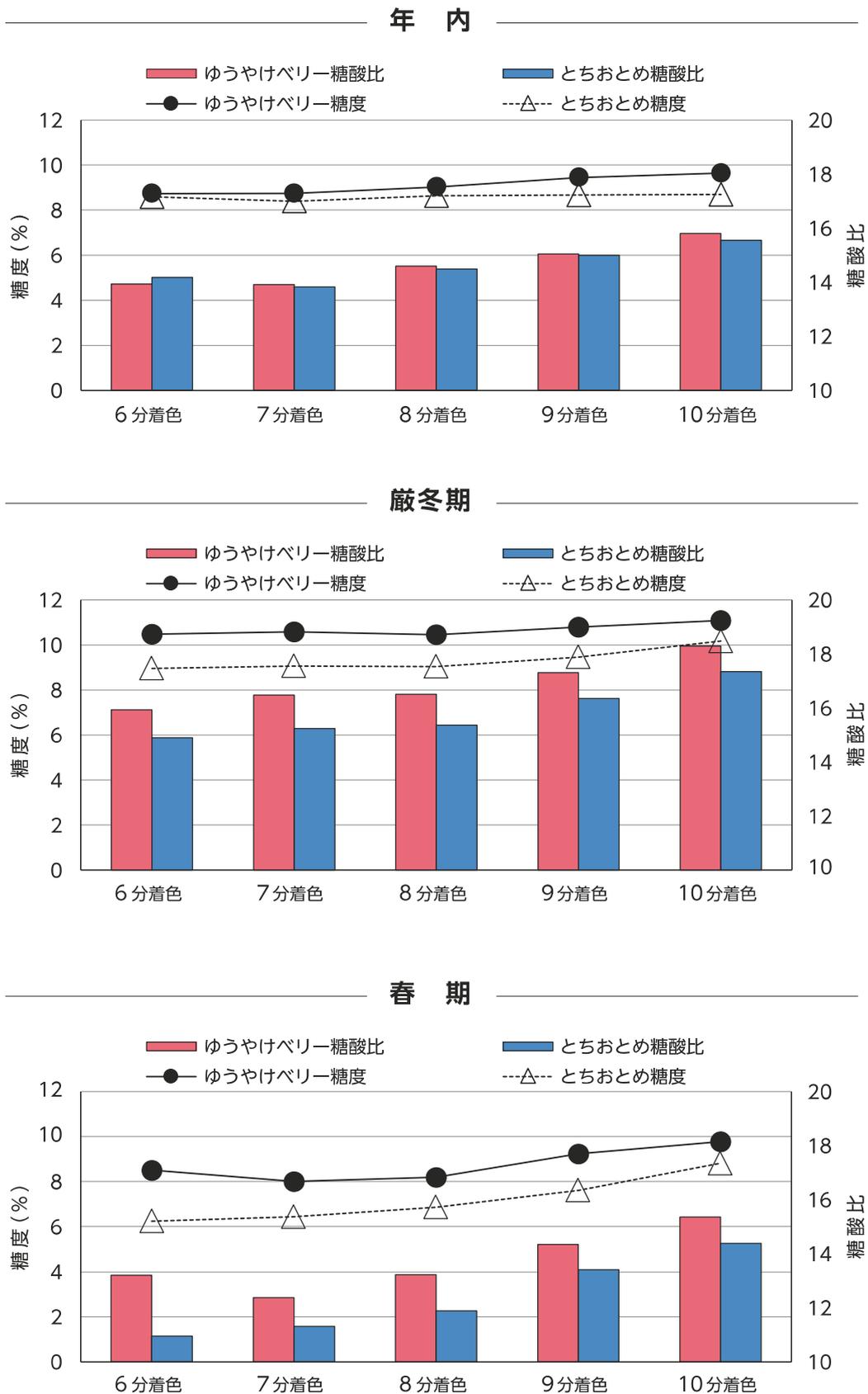


図6 収穫時期別の着色程度別果実糖度及び糖酸比  
(農業総合センター、2023年12月～2024年4月)

## エ 果実の着色

果実の開花から完全な着色までに要する日平均積算温度は、「とちおとめ」と比較し低い傾向があります。また、「とちおとめ」よりも完全な着色までに要する日数は短いです（図7、8）。

		ゆうやけベリー			とちおとめ		
		5~6分着色	7~8分着色	10分着色	5~6分着色	7~8分着色	10分着色
保存温度 5℃	収穫時						
	保存後						
保存温度 15℃	収穫時						
	保存後						

図7 着色の進み方  
(農業総合センター、2024年3月4日~3月6日)

※保存後とは収穫約2日後

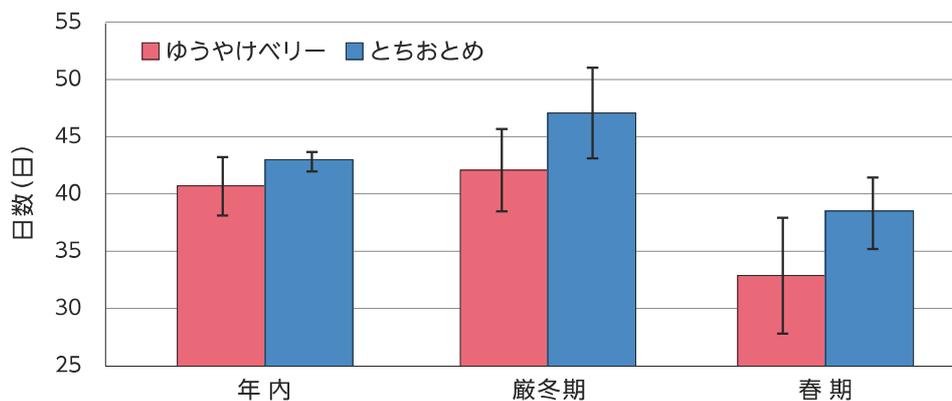


図8 収穫時期別の開花から果実の完全着色までの積算日数  
(農業総合センター、2022年11月~2023年4月)

#### ④ 病害抵抗性

炭疽病の接種試験では「とちおとめ」より発病度が低い傾向があります(図9、10)。

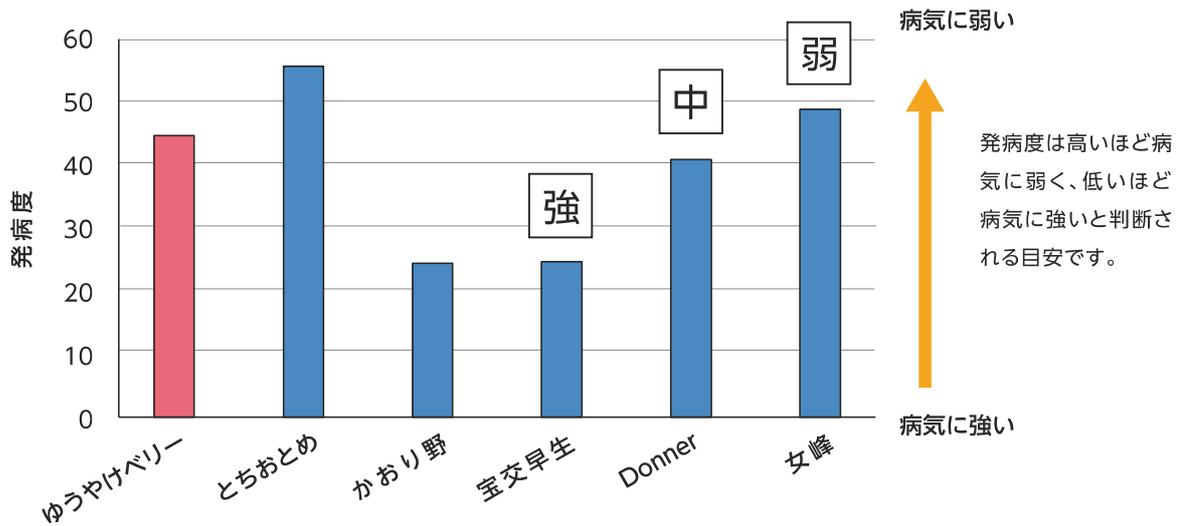


図9 炭疽病接種3週間後の株全体の発病度  
(農業総合センター、2021年)

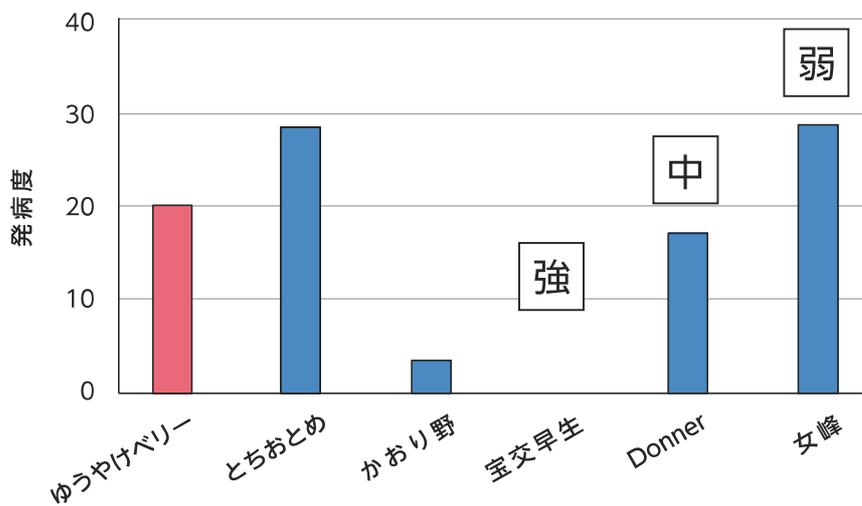


図10 炭疽病接種4週間後のクラウンの発病度  
(農業総合センター、2021年)

## ⑤ 作型・栽培方式

県内全域での施設促成栽培に適しており、高設栽培及び土耕栽培いずれの栽培も可能です。



写真9 現地試験栽培の様子  
(上から会津若松市、伊達市、相馬市、2022年1月撮影)